K's NEWS
KANSAI HOKURIKU BLOCK in AREA ×3

印刷して学生みなさんでお読みください！

全国大学生協連
関西北陸ブロック
執筆者：奥村将也
協力：大阪大学生協
発行日：2021年6月17日
第102号

大阪大学生協

うつろいほっとステーション ～あなたにスマイル差し上げます～

[健康と安全]

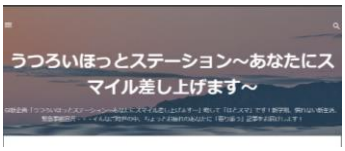
取り組み概要

日時：5/1~5/5
場所：web上のブログページ
<https://hotosuma.blogspot.com/>
参加者数や組合員の反応：記事閲覧数各日平均約90人

背景や概要：新生活、コロナ禍などで悩みを抱えた学生が多く、その現状に寄り添う記事を、毎日1つ投稿。

組合員に寄り添って悩みに共感する

POINT.1 組合員に寄り添う記事



新学期や慣れない新生活、新型コロナウイルスの拡大による自粛生活などによって、疲れがたまっていたり悩みを抱えていたりする学生が多い中で、そのような組合員の現状に寄り添い、ゆったりとした密度の濃い時間を持って心を落ち着かせることができるような記事を作成していました。

また、オンライン上での記事配信にすることで、外出を制限されている学生が気軽に参加することができる企画となっていました。

POINT.2 「共有」して「共感」する

企画の作成者自身が悩みを一人で抱えて辛かった経験から、悩みを「共有」して抱え込まないように、ということを意識した記事を作成していました。また、悩みを「共感」してもらえると解決はできていなくても少し気持ちが和らぐことから、「共感」するという点も意識していました。

会話形式の記事構成とすることで、悩みを「共有」することで「共感」が広がる様子をイメージしやすくなる工夫もなされていました。

POINT.3 理事会から広がった協同

理事会で出した企画書の、大学の「キャンパスライフ健康支援センター」と協力したいという旨の記述を見て、理事で同センターの広報担当の方が、理事会を開催していたZoomのチャットで連絡をくださりました。それからはメールで連絡を取り、センター長へのインタビュー記事を作成することができました。

学生に健康でいてもらいたいという同じ想いで、理事会から協同の輪を広げることができました。

つながる元気、ときめきキャンパス。
univ. CO-OP
3 すべての人に健康と福祉を
17 パートナーシップで目標を達成しよう
私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [奥村 将也]
Okumura.Masaya@univ.coop